

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

超音波検査で検出した悪性腫瘍を誘因とする下肢深部静脈血栓症の比較検討
～悪性腫瘍合併DVTと非合併DVTの超音波所見の比較～

2. 研究の対象患者

2015年1月1日から2019年4月30日までの期間に下肢静脈超音波検査にて深部静脈血栓症(DVT)を指摘された患者さん

3. 研究の対象期間

2015年1月1日～2019年4月30日

4. 研究の概要

深部静脈血栓症(Deep Vein thrombosis:DVT)と肺血栓塞栓症(Pulmonary thromboembolism:PTE)は、静脈血栓塞栓症(Venous thromboembolism:VTE)という一連の病態として捉えられ、DVTは時に重篤なPTEへと進展する。近年その症例数は増加傾向であり、VTEの危険因子の一つである悪性腫瘍は、発症頻度の高さ、VTEの重症度からも注意すべき一つとされている。

2018年9月我々は下肢静脈超音波検査にてDVTを認めた症例のうち悪性腫瘍を誘因とする症例を対象に、DVTと原疾患臓器別の分析をはじめ、その臨床的特徴と経過を報告した。

今回は、DVTと診断された悪性腫瘍患者と非悪性腫瘍患者の2群を対象とし、血栓病変の超音波的特徴及び、臨床的特徴を後方視的に比較、検討する。

5. 研究実施予定期間

2019年1月16日～2019年5月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

対象者背景：検査時年齢、性別、既往歴、合併症、現病歴、治療歴、臨床症状、DVT発症日、発症部位、DVT治療歴、経過、生命予後

血液学的検査：Dダイマー、SFMC、Fibrinogen、WBC、RBC、Ht、Hb、PLT

画像検査：下肢静脈超音波検査所見、CT所見

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・研究責任者：中央検査科 宮内 綾子
- ・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111 (代)